

# 秦野市地域公共交通の取組み



平成29年10月  
神奈川県秦野市

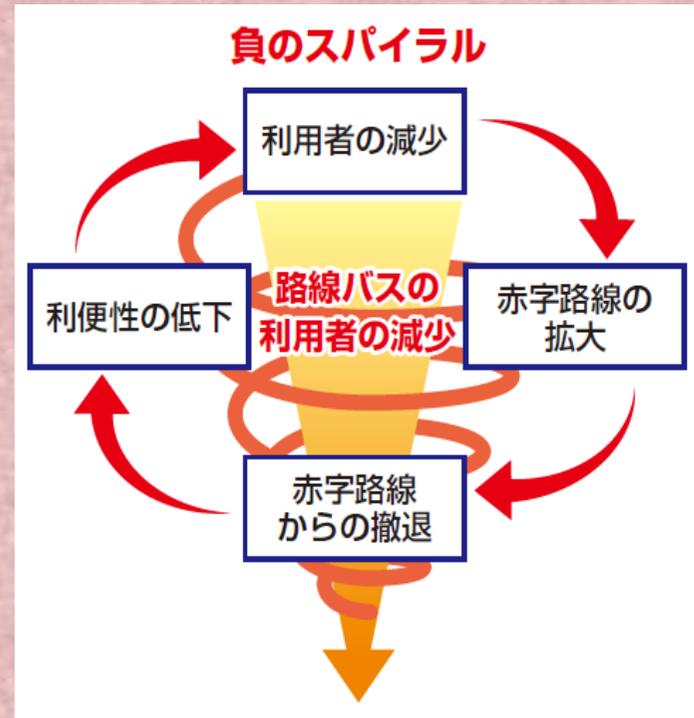
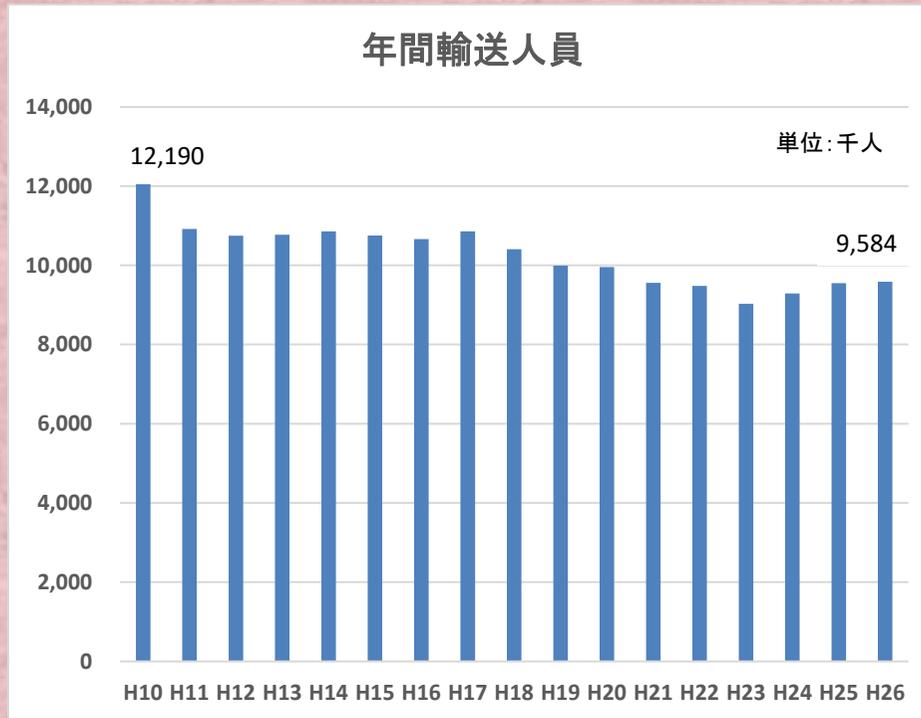
# 神奈川県秦野市



- ・神奈川県央の西部に位置
- ・面積: 103.76km<sup>2</sup>
- ・人口: 165,909人  
(平成29年10月1現在)
- ・中心部は東京駅から約60km  
横浜駅から約37km
- ・県下で唯一の典型的な盆地

# 公共交通の現状と課題①

- ・小田急線の鉄道駅4駅⇔路線バスが放射状に運行
- ・少子高齢化・モータリゼーションの進展、人口減少等により、バス利用人数は、この17年間で約**21%**減少



# 公共交通の現状と課題②

- ・平成14年2月道路運送法の一部改正

乗合バス事業→需給調整規制の撤廃→廃止や減便

廃止検討路線数:13路線

## 課題1 不採算バス路線対策

- ・公共交通空白地域が点在(鉄道駅から半径700m且つバス停から300m離れた地域)

## 課題2 路線(乗合)バスではカバーできない地域への対応

- ・課題1及び課題2への対応策

地域公共交通会議を設置(平成19年5月)

新たな地域公共交通に係る運行基本計画策定(H20.3)

※乗合タクシーを基本に新たな地域公共交通の導入

## 乗合バスの利便性向上への取り組み

- **ノンステップバスの導入(平成17~22年度、28年度~)**
  - ・合計21台導入(うち13台分を補助) 補助金額:20,141千円
- **PTPS(公共車両優先システム)の導入(平成18・19年度)**
  - ・バス107台に設置 補助金額:2,334千円
- **バスロケーションシステムの導入(平成21年度)**
  - ・バス123台に設置 補助金額:11,378千円

## 乗合タクシーの取組経過

### 1 地域公共交通活性化・再生総合事業

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| (1) 秦野市地域公共交通総合連携計画策定  | 平成20年 9月 1日 |
| (2) 路線固定型乗合タクシー 実証運行開始 | 平成20年10月30日 |
| (3) デマンド型乗合タクシー実証運行開始  | 平成21年11月16日 |

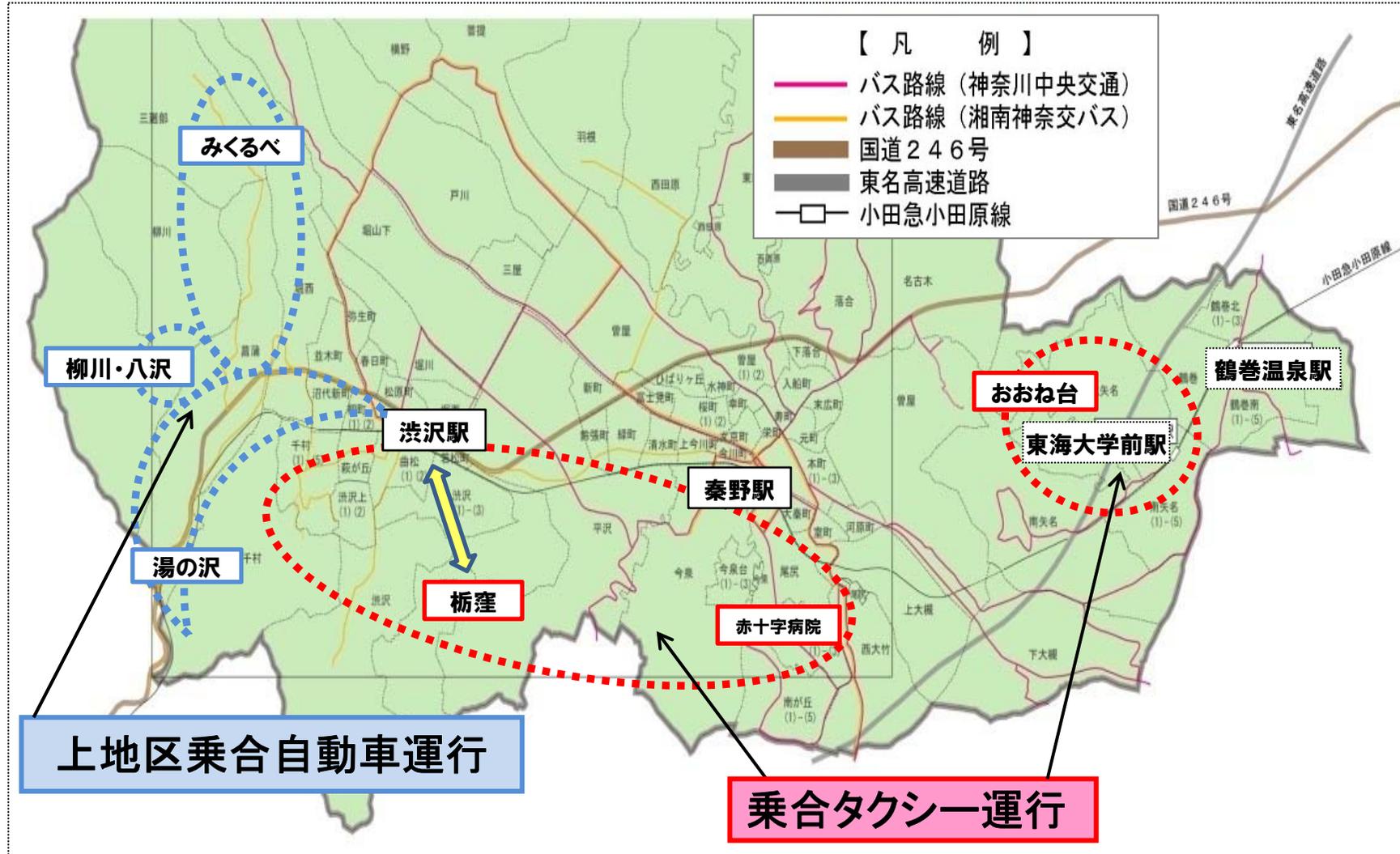
⇒平成23年4月1日本格運行

### 2 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)

上地区乗合自動車(路線固定型)実証運行開始 平成23年10月3日

⇒平成26年10月3日本格運行

# 乗合タクシーの実施区域



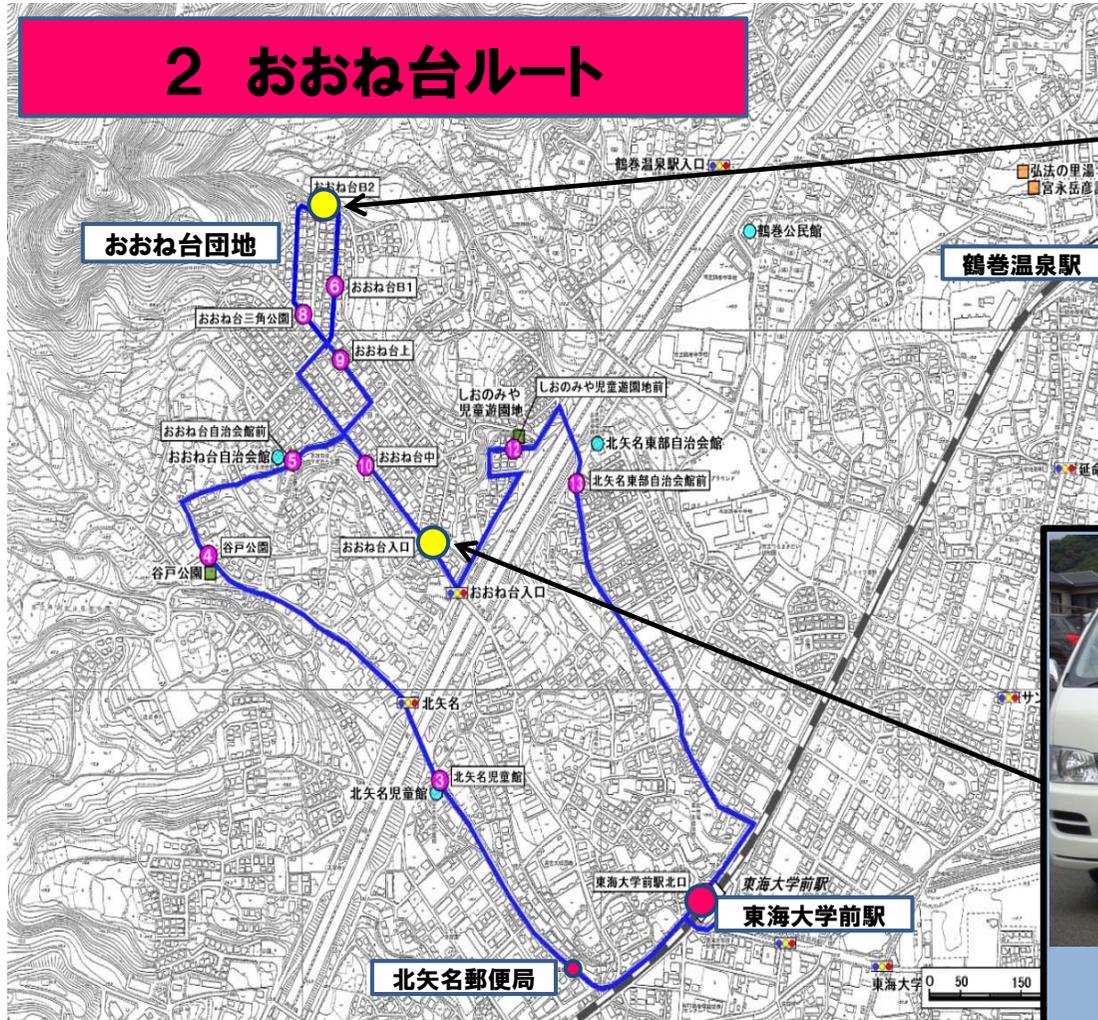
# 路線固定型乗合タクシー①

## 1 渋沢駅・秦野赤十字病院ルート



# 路線固定型乗合タクシー②

## 2 おおね台ルート

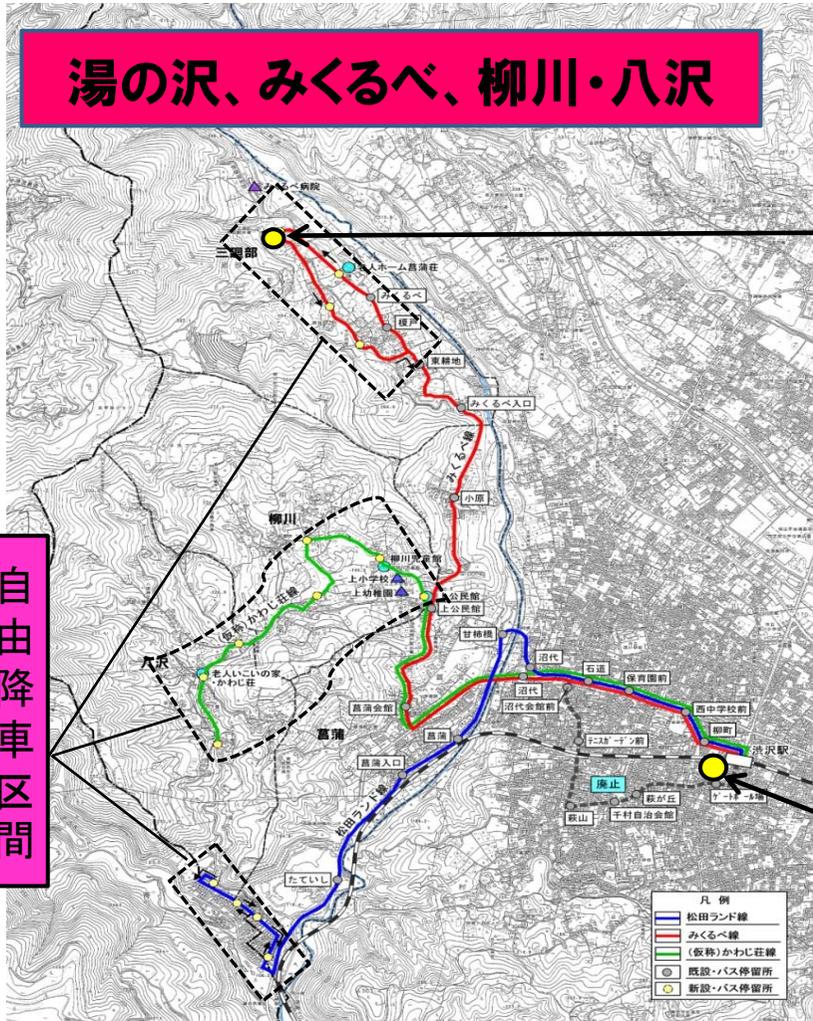


# 上地区乗合自動車(路線固定型)

～ 行け行けぼくらのかみちゃん号 ～

湯の沢、みくるべ、柳川・八沢

自由降車区間



「県民の森入口」停留所



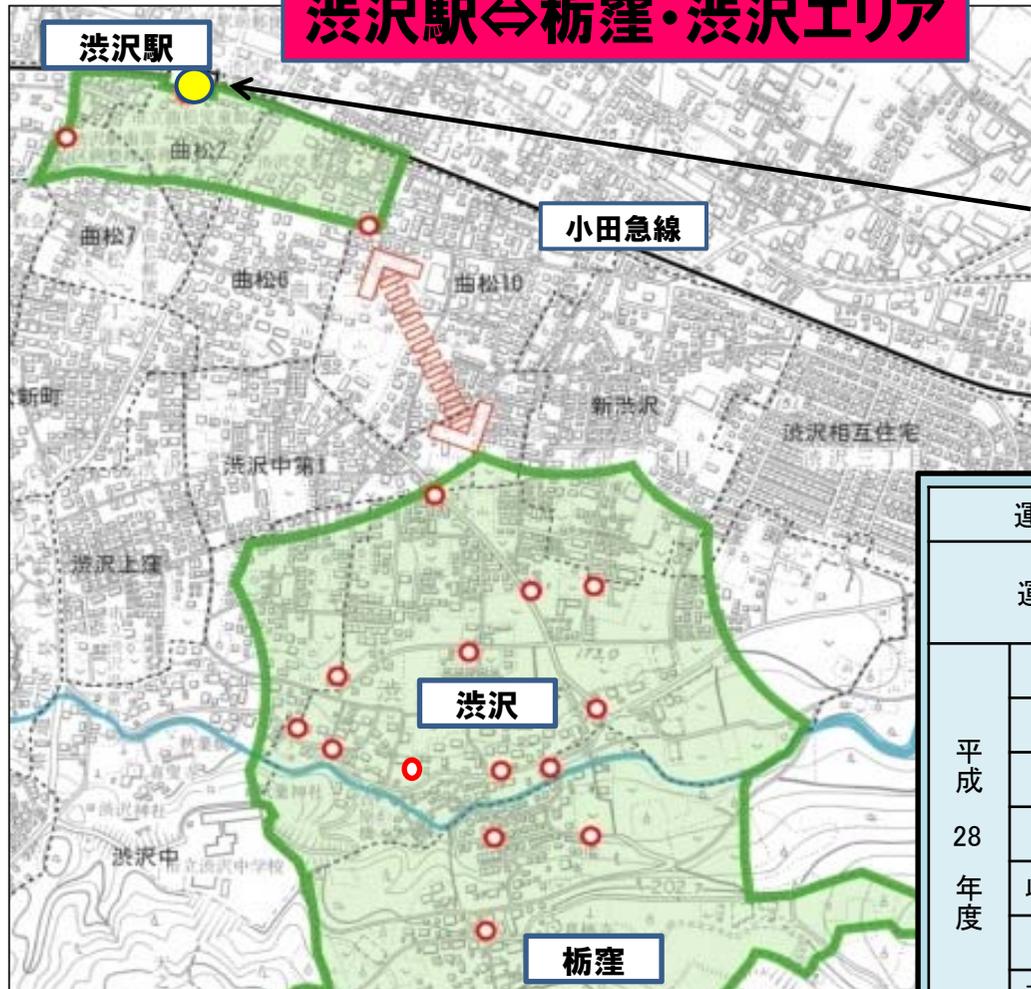
「渋沢駅北口」停留所

# 路線固定型乗合タクシー事業概要

区 分		渋沢駅・秦野赤十字病院ルート	おおね台ルート	上地区乗合自動車
運行形態		道路運送法第4条許可(路線定期運行)		
運行日		月曜日から金曜日までの平日(12/29~1/3運休)		
運行車両		乗車定員14人のワゴン車両(4台)		
運行便数		19便/日	18便/日	32便/日
運 賃		ゾーン制:200円~300円	一律200円	ゾーン制:200円~300円
平成 28 年度	運行日数	243日		
	利用者数	16,450人(3.56人/便)	16,154人(3.69人)	23,706人(3.05人)
	運行経費(A)	12,985千円		11,451千円
	運賃収入(B)	7,086千円		5,342千円
	収支率(B/A)	54.6%		46.7%
	国補助金	—		3,815千円
	市補助金	7,767千円		
	事業者負担額	426千円		

# デマンド型乗合タクシー

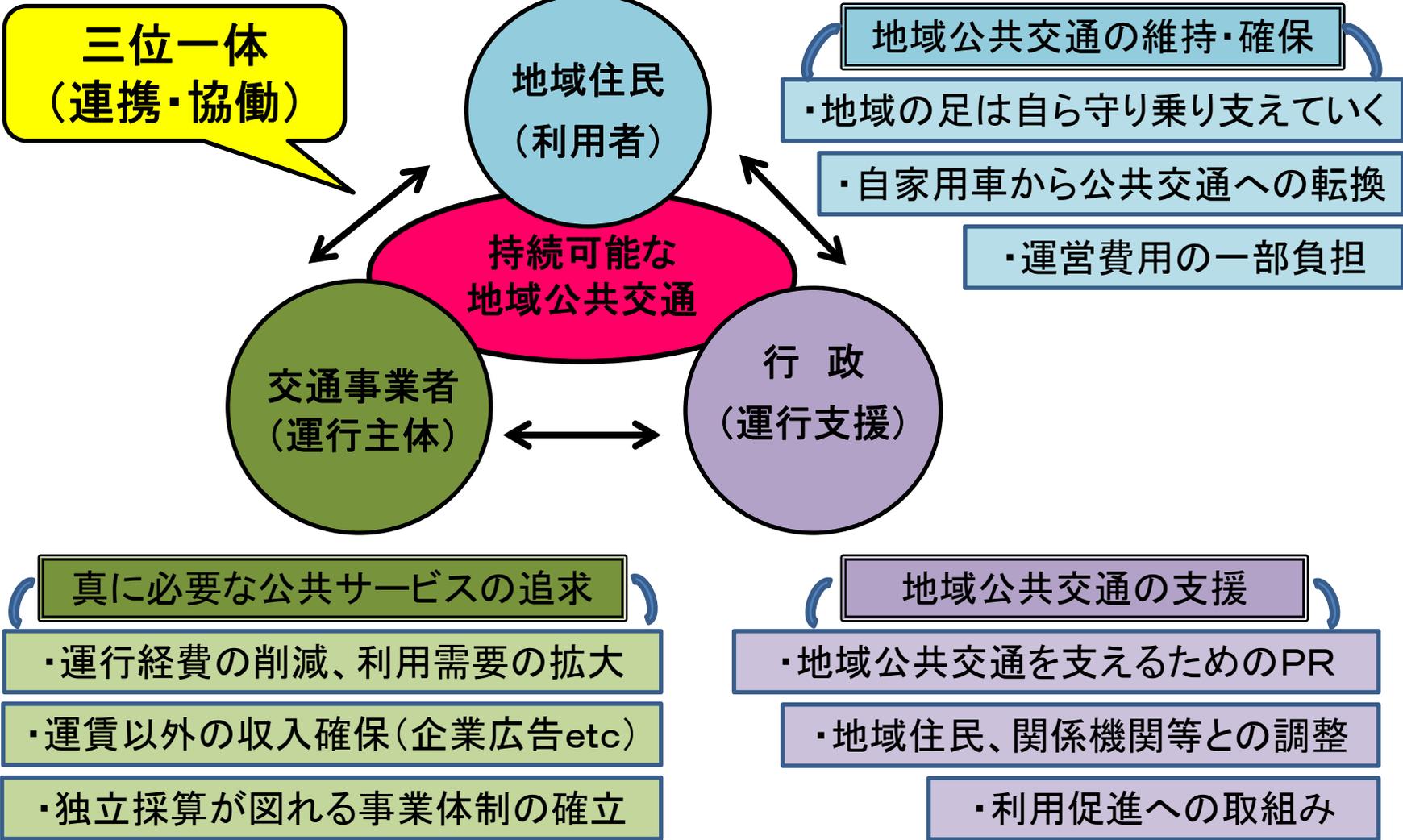
渋沢駅⇔栃窪・渋沢エリア



渋沢駅南口

運行便数		駅発5便/日・居住地発6便/日
運賃		1人350円(往復又は利用者同士の利用時割引有り)
平成28年度	運行日数	108日
	利用者数	188人(1.13人/便)
	運行経費(A)	178千円
	運賃収入(B)	62千円
	収支率(B/A)	34.8%
	市補助金	59千円
事業者負担額		57千円

# 持続可能な地域公共交通を目指して



# 高速バス路線の拡充

## 1 新規路線の誘致等

### (1) 既存路線

東京駅－静岡駅線、新宿駅－御殿場・箱根桃源台線

### (2) 誘致路線

平成25年 3月 羽田空港線(羽田空港・横浜駅－箱根桃源台)

**夜行** 平成27年 4月 名古屋方面(東京・横浜－名古屋) …2系統

大阪方面(東京－大阪－神戸三宮)

鳥取方面(東京－大阪－鳥取駅)

**夜行** 平成27年 9月 浜松・名古屋方面(東京－浜松・名古屋)

**夜行** 平成27年10月 姫路・岡山方面(東京－神戸三宮－姫路・岡山)

**夜行** 平成28年 7月 北陸方面(小田原－東京－富山・金沢・福井)

# 交通需要マネジメントの推進

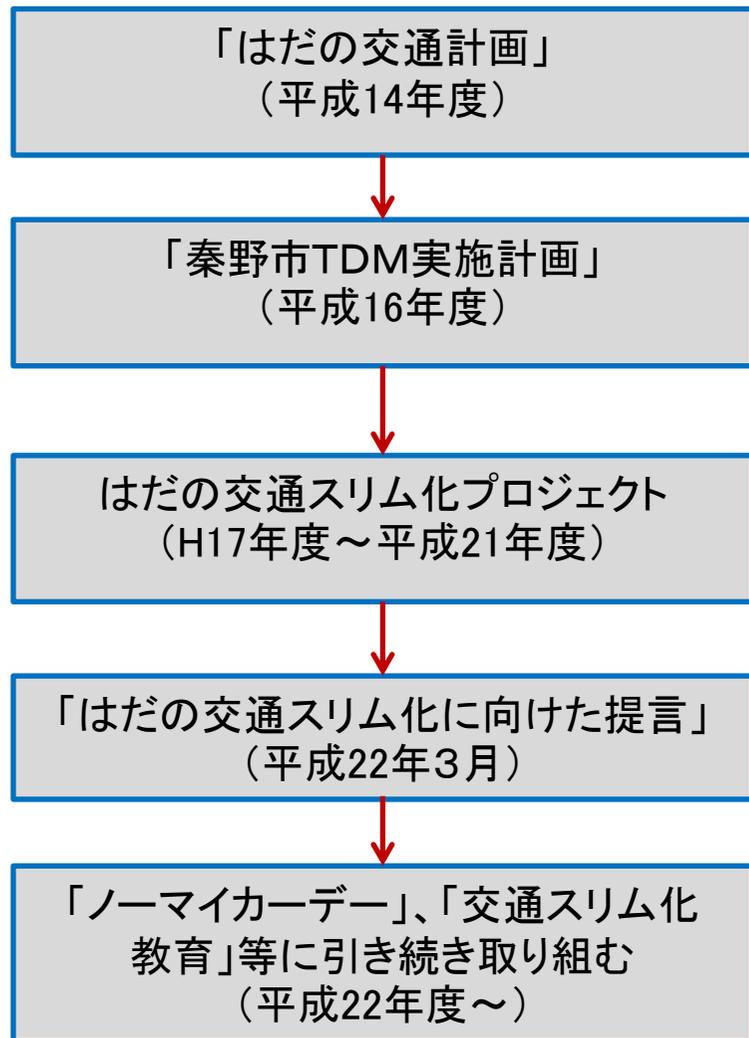


図 TDM施策取組みの経緯

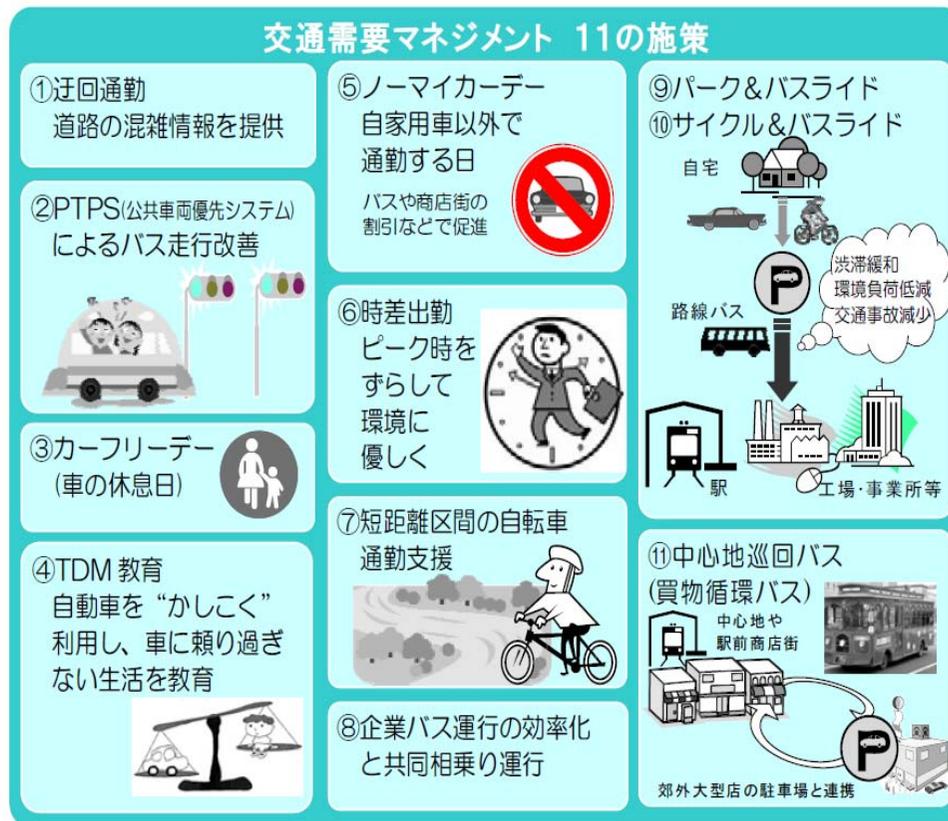


図 秦野市が取り組む11の施策

# 交通需要マネジメントの取組みに対する評価

## 1 第7回EST交通環境大賞 奨励賞の受賞

- ・本市の長年にわたる地域との協働の取組みが評価され、EST普及推進員会(委員長:太田勝敏/東京大学名誉教授)が選定する「第7回EST交通環境大賞**奨励賞**」を受賞した。

(H28.2.22 表彰式)



## 2 JCOMM10周年記念特別セッションでの事例発表

- ・第10回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)において開催された、JCOMM10周年記念特別セッション「成功例から読み解くMM一人々の想いが繋ぐ成功物語」のパネルディスカッションに参加し、小学校における「**モビリティ・マネジメントの成功事例**」として発表した。(H27.7.24 開催)

# 小田急電鉄株式会社との連携協定締結

## ■ 具体的な連携・協力事項（抜粋）

### 1 駅の機能向上及び駅を中心としたまちづくりに関すること

- ・ホームドア整備の検討など、ホームの安全性向上に関する連携・協力
- ・誰もが安心・便利に利用できる駅機能の高度化に関する連携・協力
- ・4駅を拠点とした「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの実現に関する連携・協力



### 2 地域の活性化及び地域の魅力発信に関すること



- ・ロマンスカーを活用したイベントの開催など地域の活性化に関する連携・協力
- ・駅空間や車両を活用した地域資源のPRに関する連携・協働

(H29.8.23 締結)



ご静聴ありがとうございました。